

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	9	1	1	
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	松本 禎久			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	消防の任務を遂行するため、必要不可欠となる知識を修得するため、計画的に職員研修を実施し、人材育成に取り組むこととする。 退職者の増加を勘案した、体制強化を継続的に進めていく必要がある。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。
②①に基づく取り組み結果	今後数年間における消防職員の退職者増加を勘案しつつ、研修派遣者を選考し、人材育成に取り組めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防吏員	意図(対象をどうするのか)	複雑多様化する消防業務に対応するため、高度な専門的知識や技術を修得する。
②事務事業の概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	災害件数の増加、複雑多様化する災害への対応や高度な救急処置が要求され、専門的な知識、技術を持つ職員の養成により安心して暮らせる消防体制が望まれている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	消防職員30人を研修派遣し、知識と技能の向上を図った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 派遣計画者数/派遣者数	100	100	100	% 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	6,492	4,213	金額(千円)	内容	4,876
			2,467	消防学校等負担金	
			1,260	技能講習等負担金	
			481	旅費	
一般財源(千円)	6,492	4,213	5	報償費	4,876

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の修得が必要である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防車両更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	松本 禎久			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ的確な活動が出来る車両を更新整備する。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速且つ、的確な活動ができる車両を更新整備する。
②①に基づく取組み結果	検討会を開催し、現場の意見を取り入れながら、本市に適した車両及び資機材を決定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防本部及び消防署の管理する車両	意図(対象をどうするのか)	車両更新計画に基づき、車両を更新する。
②事務事業の概要	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	複雑多様化する災害が増えていることから、安全に暮らせる社会システムへの要望が高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	水槽付消防ポンプ自動車を購入した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i	車両更新率	100	100	100	車両更新計画
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	73,465	46,630	金額(千円)	内容	39,443	
国支出金(千円)	15,749	13,508	45,879	備品購入費	14,549	
県支出金(千円)			716	手数料(AVM移設他)		
市債その他(千円)	21,000	29,100	9	保険料(自賠償保険)	21,600	
一般財源(千円)	36,716	4,022	26	公課費(重量税)	3,294	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民の安全安心のため消防用自動車の更新は、継続していかなければならない。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	消防車両の更新。	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	くぬぎ山消防署の水槽付き消防ポンプ自動車を更新した。	47,248	47,248	当初	47,248	46,630	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		現年分	46,630
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)				0		

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防本部庁舎建替事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	234消防力の強化	担当課室長	松本 禎久			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	倉庫棟及び外構工事を実施し、本事業を完了する。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	消防本部庁舎建替工事は完了したが、家屋事後調査委託結果に基づく、対象家屋の物件補償契約を完了する。
②①に基づく取組み結果	倉庫棟及び外構工事は完了したが、物件補償契約が完了しなかったため、事業完了には至らなかった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防本部庁舎	意図(対象をどうするのか)	消防本部庁舎の建替え
②事務事業の概要	耐震性能に優れた消防本部庁舎に建替えることにより、災害活動拠点としての機能を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	災害対応の中核を担う消防本部庁舎の建替えを行うことにより、震災等の災害時において確実な対応が可能となり、市民が望んでいる消防力の強化を図ることができる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	平成28年7月末に倉庫棟が完成した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	事業進捗率	77	89	100	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	108,939	125,419	金額(千円)	内容	1,654		
国支出金(千円)			112,932	工事請負費			
県支出金(千円)			10,591	委託料			
市債その他(千円)	96,000	105,600	1,846	補償補填及び賠償金			
一般財源(千円)	12,939	19,819	50	使用料及び賃借料	1,654		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	近隣家屋の事後調査は完了しているが、対象家屋の住民に物件補償として金銭による補償をしなければならない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	建替工事は全て完了したが、建替工事に伴う物件補償が完了していないため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	倉庫棟及び外構工事を完了する。	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	倉庫棟及び外構工事を完了した。	37,430	132,421	当初	37,430	125,419	H27からの繰越	94,601
				H27⇒28繰越	94,601			
③達成状況	未完了			補正	0		現年分	30,818
④未完了・非着手の理由	建替工事に伴う物件補償契約が完了しなかったことから、事業完了に至らなかった。			流用・充当	390			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)				1,654		